



みどりのアスパラガス

北広島市しょうがい児者を持つ親の会
発行責任者 加藤裕子
平成 31年 4月発行
第 224号

新年号の1年がスタートします。
今年度もどうぞよろしくお願い致します。



ご挨拶

会長 加藤裕子

皆さま、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

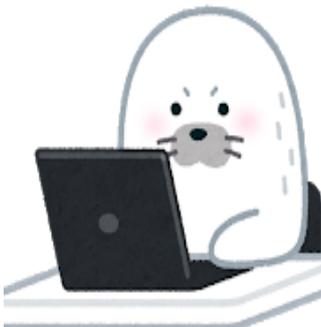
今年度は、会員数 27 名でのスタートとなりました。年々、会員数が減少するのはやむを得ないことと思いつつも、残念な思いはぬぐえません。

昨年度は、我が子を自宅の狭い空間に閉じ込めて、長い間、社会から隔離していた事例が報道されたり、国や自治体までもが障害者雇用の数値のごまかしを行っていたこと、旧優生保護法の名の下に、強制的に避妊手術が行われていたことなど、心が痛くなることが多数報道されました。震災、ブラックアウトの体験も、大変なものでした。

思いを言葉にできない、気持ちを上手く表現できなかつたり伝えられなかつたりする我が子たちの代弁者として、身体のパーツが傷む日々、もうひとつふたつ頑張らなくてはと思います。

年々刻々変わる制度や取り組みについて、学びましょう。聴いて、尋ねて、語りましょう。疑問や希望、不安や戸惑い、怒りも喜びも語り合い、積み上げていける親の会でありたいと考えます。各月の定例会に、是非ご参加下さい。

今年度も、よろしくお願い致します。



私たち親の会のホームページが出来ました。
まだまだ不十分ではありますが、これから情報を発信して行きたいと思っております！

是非ご覧ください！！

<http://oyanokai.sunnyday.jp>

平成 30 年度 定期総会 終了しました

平成 31 年 3 月 26 日(火)、第 44 回定期総会を終了いたしました。

出席者14名、委任状 9 名にて開催され、議長には葛西さんが選出され、議事が進行されました。議事(1)～(5)すべて承認いただきました。

平成 31 年度の事業計画については、大きな変更はありませんが、今年度も事業の担当を担う会員の皆さんの負担の軽減を図り、無理なく会の活動を継続していけるよう、会員や賛助会員のニーズをとらえ、研修や余暇支援活動の事業等の企画を行っていくことになりました。早速、昨年度も好評だった、ゆうちょ財団の金融教育講座の再開を望む意見が上がりました。

役員については諸事情から、副会長の中川が知的部長を兼任することとなりました。どうぞよろしくお願い致します。

終了後は、北ひろしま福祉社会児童発達支援放課後等デイサービス「つなぐ」の倉場様、粕谷様より、4 月よりオープン「つなぐ」についてのご紹介がありました。

その後は、久しぶりに会う会員同士、近況報告をし、昼食を取りながら楽しいひと時を過ごしました。



新年度役員

会 長	加藤
副会長	齊藤
副会長	中川
会 計	岡本
知的部会 部長	中川(兼任)
自閉症・発達障がい部会 部長	仲上
肢体部会 部長	山崎
会計監査	國岡
会計監査	南

賛助会員ご協力のお願い

北広島市しょうがい児者を持つ親の会の活動に、ご理解・ご協力をいただきける、賛助会員のご入会を随時受け付けております。どなたでも、何口からでも構いません。

賛助会員入会後は、ご希望の方には会報誌を発送させていただきます。また、当会の企画の講演会等は会員価格でご参加いただけます。

賛助会費：一〇五〇〇円

※ホームページの入会フォームよりお手続きいただくか、担当岡本()までご連絡ください。
どうぞよろしくお願い致します。

